

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月27日 (土)	試合番号	4-4	回戦	準決勝
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC ・ 愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
大崎電気			トヨタ車体		
得点合計	小計		小計	得点合計	
34	16	前半	17	33	
	18	後半	16		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 堀 卓行

大崎電気のスローオフで試合がスタート。大崎電気が6番豊田のサイドシュート、24番信太のステップシュートで2点先行するも、トヨタ車体も3番石戸、4番熊谷の得点などで応戦。準決勝にふさわしい1点を争う好ゲームとなる。抜け出したい大崎電気であったがトヨタ車体21番甲斐のファインセーブに阻まれ、なかなかリードを広げることができない。追いつきたいトヨタ車体は18番崎前の得点で同点、前半14分には20番渡部の得点でとうとう逆転に成功する。トヨタ車体はこの勢いのままにリードを広げ、22分には15-10とし、この試合最大の5点差をつける。このままトヨタ車体のペースのまま試合が進むと思われたが、大崎電気は7番宮崎を中心に攻撃を組み立て徐々に追い上げを見せる。前半終了間際に大崎電気3番小澤のサイドシュートが決まり、17-16と1点差まで追い上げ前半を終了する。

後半開始早々に大崎電気25番元木の速攻が決まり、17-17の同点となる。しかし、後半3分過ぎ、24番信太、6番豊田が続けて退場。トヨタ車体は相手2人の退場をきっかけに数的有利をうまく攻め、3番石戸の得点などで22-18とし、4点差までリードを広げる。流れを変えたい大崎電気はディフェンス時に11番馬場を投入、トヨタ車体のパスワークを乱しにかかる。この後、大崎電気は徐々に追い上げを見せ、24番信太の得点で27-27の同点に追いつく。対するトヨタ車体も3番石戸の連続得点などでリードは譲らない。一進一退の攻防が続いたが、後半26分大崎電気がとうとう逆転に成功。しかし、トヨタ車体もすぐさま追いつく。そして、ラスト16秒、33-33の同点の場面で大崎電気がタイムアウト。最後に7人攻撃で得点を狙う。延長戦かと思われたラスト1秒、大崎電気17番植垣の得点が決まり、大崎電気が決勝進出を決めた。